

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 須 恵 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>「自ら学び、新しい時代を生き抜く力、未来を切り拓く力を育てる学校」 学習におけるICTの積極的な活用や地域貢献・ボランティア活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、地域社会で主体的に活躍する人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>「校訓」・「五省」・「五心」を教育活動の根幹に据え、進取の気風の下に生徒の主体的な活動を促し、主体性・自律性の涵養を図り、新しい時代を生き抜く力、未来を切り拓く力を持った人材を育成する。 ●敬愛の精神と国際的視野を備えた、常に探究し続ける人材 ●自分自身の未来を切り拓く強さを備えた、自律的な人材 ●地域やグローバル社会で活躍できる主体的な姿勢を持つ人材</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>(1) 認知能力と非認知能力の育成 (2) 自律的な学修者の育成を念頭においた探究活動を中心とした学びの充実 (3) 体験的学習を重視した教育活動の推進とキャリア教育の充実</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>(1) 将来の夢や目標を実現させるため、チャレンジ精神をもって努力できる生徒 (2) 思いやりの心をもって協働して学習や行動ができる生徒 (3) 自らを鍛え向上させようとして学習や学校行事、部活動等に積極的に取り組む生徒</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針	年度重点目標		評価(総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>教師が生徒に寄り添うスチューデントファーストの教育が継続され、学校満足度調査では8割以上の生徒が「学校が楽しい」と回答した。ICTを活用した授業づくりや対話的な学びの実践も進み、生徒同士が意見を交わしながら学ぶ場面が増えてきた。 今後は「楽しい」が自主的に学ぶ楽しさにつながるよう、学習への主体性を引き出す工夫が必要である。また、非認知能力の育成を目指して、地域連携を軸に実践的な活動を増やし、探究活動の充実・深化を図る。加えて、校務分掌の縦と横のつながりをさらに強化し、より円滑な学校運営を目指していく。</p>	<p>(1) 安全で安心できる学校環境の整備と協働的な学びの促進</p>	<p>・人権尊重と道徳心を基盤に、全ての生徒が安心して学べる環境を整備 ・挨拶・清掃の習慣化を通じ、規律とコミュニティ意識を醸成 ・小中学校や地域との連携を深め、地域ぐるみの教育環境を構築</p>	
	<p>(2) 非認知能力の育成と地域貢献の推進</p>	<p>・学校行事や部活動、ボランティア活動を通じ、協働力・主体性・レジリエンスを育成 ・フィールドワークや地域活動を充実させ、学びを実社会と結び付ける ・目標に向けて努力する習慣を育み、最後までやり抜く力を伸ばす</p>	
	<p>(3) ICTと探究学習の融合による思考力の深化</p>	<p>・ICTを活用した個別最適な学びと協働学習を組み合わせ、学習の質を向上 ・「総合的な探究の時間」で問題発見力を重視し、実社会の課題に取り組む機会を増やす ・データ活用や情報リテラシーを鍛え、論理的な思考力を養う</p>	
	<p>(4) 双方向対話と表現力の強化</p>	<p>・相手の意見を理解し、自分の考えを論理的に表現する力を育成 ・授業での記述・発表活動を増やし、言語化する力を強化 ・探究活動の成果を発信し、プレゼンテーションやディスカッションの機会を拡大</p>	
	<p>(5) 進路指導の充実と学校の魅力発信</p>	<p>・基礎学力の定着と進路決定後の学習支援を強化 ・キャリア教育を通じ、職業観・進路意識を高め、主体的な進路選択を支援 ・探究活動や地域連携の過程や成果を積極的に発信し、学校のブランド力を向上</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
<p>教務</p>	<p>年間を通じて、出席率96%以上を維持する</p>	<p>ICTを積極的に活用し授業改善に取り組む 生徒の興味・関心を高め、学びに向かう姿勢をよりよいものとする 学年や他分掌、保護者と情報交換を行い、連携を強化する</p>	<p>出席率(校務支援システム)</p>	
	<p>授業満足度80%以上を達成する</p>	<p>観点別評価に基づく教科指導及び授業改善を行う 観点別評価に基づく考査を作成し、実施する 授業評価規準及び評価基準を生徒に明確に提示する</p>	<p>授業アンケート(生徒対象)</p>	
	<p>成績処理の更なる効率化を図る</p>	<p>校務支援システムの運用マニュアルの周知徹底を図る 考査振り返りの日の適正な運用を図る 自動採点システムのマニュアルを整理し、使用を促す</p>	<p>使用運用に関するアンケート(教員対象)</p>	
<p>広報</p>	<p>提供する各種情報が中学生の適切な進路選択に役立つよう志向する</p>	<p>2回のオープンスクール(8月・10月)と部活動見学デイ(10月)を実施する 第4学区進路相談事業(8月)を円滑に運営する 1日高校体験(随時)等の中学校からの依頼に積極的に応える</p>	<p>各種広報イベントに参加した中学生対象アンケート 「本日みなさんが手に入れた情報は、自身の進路選択に役に立ちそうですか？」</p>	
	<p>志願倍率の確保</p>	<p>組織的・計画的に中学校訪問を実施する 動画コンテンツを中心に学校ホームページの情報整理を進める HP掲載までの流れをより一層整備し、積極的な情報発信を行う</p>	<p>令和9年度公立高等学校入試志願状況</p>	
<p>研修</p>	<p>学校の組織力向上に向けた研修の充実</p>	<p>アンケート結果をふまえ、校内職員研修会の内容の充実を図る 公開授業期間中に研究授業が実施されるよう調整し、参観者を増やす 1年間の活動成果を「研究紀要」にまとめ、学校の企画・運営資料として活用できるようにする</p>	<p>職員研修事後アンケート 授業参観アンケート</p>	
	<p>授業アンケート、学校満足度調査の円滑な実施</p>	<p>授業改善に資する授業アンケートを実施する 関係分掌に結果を報告し、スピード感のある対処・対応を行う 広報課と連携し、学校満足度調査の結果を学校の魅力発信につなげる</p>	<p>授業アンケート 学校満足度調査(3年生対象)</p>	
	<p>生徒を主体とした読書推進活動</p>	<p>図書委員を学校行事や合同研修会に積極的に参画させる 図書委員作成の「図書館だより」を毎月発行する 図書委員を中心に読書週間の五省読書を周知させる</p>	<p>内容、活動に関する発信(教室掲示、Classiなど)</p>	
<p>生徒</p>	<p>安心・安全な学校環境づくり いじめの早期発見・早期対応をする</p>	<p>月1回のいじめ等アンケートや、個人面談を実施し生徒支援を行う 日常の生徒支援を徹底し、迅速な対応をする いじめ対応や生徒支援などの職員研修の実施や外部講師による講演をする</p>	<p>いじめ等アンケート</p>	
	<p>リーダーシップ及びフォローアップの育成</p>	<p>学校行事において生徒の役割を見直し、リーダー育成の場を増やす 生徒の自主性の下に自己肯定感と自己決定の場を多くつくる 各々の行事後、自身の「リーダー」または「フォロワー」としての関わり方を振り返らせる</p>	<p>岳城祭体育祭における振り返りアンケート</p>	
	<p>挨拶の徹底と部活動加入率70%以上を目指す</p>	<p>挨拶の徹底に繋がる活動の協議、立案を、生徒会中心とした取り組みとして行う 挨拶運動等生徒中心の活動を実施し、学校の活性化につなげる 部活動紹介や部活動体験の実施を、部活生と生徒会が連携した取り組みとする</p>	<p>部活動統計</p>	

保健	内科的保健室利用者数の抑制 体育、体育的行事、部活動での傷病者数の抑制 ※突発的な外傷は除く	保健委員による取り組み ①季節ごとの保健だよりでの注意喚起	保健室利用者統計	
		熱中症予防の徹底 ①計画的に水分確保ができる体制をつくる ②熱中症予防教室の充実 ③救護係、サポート係担当、担任、副担任の連携		
	生徒支援体制の強化	保健体育科、家庭科、部活動との連携の強化 ①服装や爪など、外傷を起こす危険性を事前に排除するための啓蒙活動 ②活動場所の安全管理		
地域・企画	コミュニティレンジャーによる地域貢献の活性化およびボランティア活動を通じた非認知能力の向上	教職員等による「居場所づくり」 ①個人面談週間の効果的活用 ②担任、副担任、学年、保健室の連携強化	学校生活アンケート 保健室利用者統計 スクールカウンセリング統計	
		生徒支援記録の有効活用 ①教員間の情報共有と対応の模索 ②学年コーディネーターの有効活用 ③保護者との連携 ④専門機関との連携 ⑤サポートヒントシートの有効活用		
	清掃の習慣化と徹底	美化委員の活性化をはかる 教員の掃除指導の徹底 生徒会、美化委員会、保健委員会の連携強化		
進路	年入内試験合格率80%	コミュニケーションが活動しやすい体制を作り、地域と交流を深め、地域貢献につながる活動に幅広く参加する 全校生徒対象のボランティア活動に参加し、生徒の主体性、協働性を育成する 活動報告を通して成果を校外に発信する	報告書	
		交流会をより効率よく運営できるような体制を作る PTAとの連携を密に行う 活動報告を通して成果を校外に発信する	事後アンケート 小学生の感想 実施会場アンケート PTAアンケート	
	質の高い式典の挙行、スムーズな運営	企画段階からイメージを共有し、様々な視点からチェック、熟考する 全員で式典を創り上げていく雰囲気作りを行う	職員アンケート	
	PTAとの連携を深め、業務を円滑に行う	PTA役員との連絡・報告・相談を密に行う 教員とPTA役員との業務分担を明確化する 業務の精査、見直しを行う	役員会での意見交換	
情報	私立大学入試験合格率50%	志望理由書の作成を通して自己理解を進めさせ、3年1学期までに完成するよう、計画的に指導する 年入内試験受験生を全職員に割り振って小論文・面接指導を行うとともに、職員向けに研修会を行う 総合的な探究の時間と連動した面接・小論文指導を行う	「須恵高校」に対するアンケート調査 (3年2月)	
		推薦入試後の粘り強い学習を推奨する。また、各私立大学に対応した対策講座(1月下旬)を充実させる 放課後課外・長期休業中セミナーを充実させ、積極的に受講するように面談や集会で継続的な呼びかけを行う	私立大学入試験合格率	
	1・2年次進研模試国数英総合 全国偏差値45以上	classiの学習トレーニング機能を用いて、模試対策を充実させる。模試実施後ベネッセテスト成績連動課題を用いて、個別最適化された課題を配信し、生徒に合った学習内容を提供する 「classi」「High School Online」を使って二者面談や三者面談を行い、生徒の学習成果を把握させる	Benesse High School Online →Compass, FINE SYSTEMで確認。	
	一般入試対策の充実	共通テストの受験者に対して、放課後課外やセミナーにて対策講座を行う 1月の私大対策講座を充実させるとともに、国公立大学受験者には、教科ごとに担当者を決め個別指導を行う	大学一般入試験合格率・合格者数	
探究	機器の運用管理を安定稼働させる。	先生方の校務用PCの保守・管理を実施する 生徒用Chromebookの保守・管理を実施する 電子黒板のソフトやネットワーク等の保守・管理を実施する		
		学習支援アプリ等のアカウント管理、文書管理、アンケートの管理	先生方や生徒の各種アプリのアカウント登録、操作方法マニュアルの整備をする ソーシャルメディア利用ガイドラインの受付やデータ保存、管理等をする 各種アンケートを先生方や生徒に依頼し、その結果の報告を確実にを行う	依頼先に対し、アンケート結果を添付し、送信する。
	生成AIの活用を検討し、有用に活用する。	生成AI活用に関する職員研修会を実施する 生成AIを活用したアプリの活用方法について研究する 個人情報漏洩についての意識を向上させる	研修後に、職員アンケートを実施する	
探究	「総合的な探究の時間(スエドリームプロジェクト)」の深化	目標・方針・年間計画・実施計画の精選・改善に取り組む 問題発見力を重視し、生徒が主体となって実社会の課題に取り組む機会を増やす 振り返りを重視し、探究活動の成果を発表する機会を各学年で設ける	生徒アンケート(「総合的な探究の時間」の振り返り)	
		地域の企業や自治体との連携を深め、それを軸とした地域探究の充実をめざす 大学や地域の教育機関などとの連携を深め、進路探究の充実につなげる 教育支援業者と協力し、「総合的な探究の時間(スエドリームプロジェクト)」の深化を図る	各団体へのアンケート	
	校内の推進体制の整備	「総合的な探究の時間」の授業担当者による会議を実施する 「総合的な探究の時間」の研修を各学期に1回以上実施する 「総合的な探究の時間」の成果物を適切に評価・記録・管理する	職員アンケート	

第1学年	安心して通える学級・学年の環境づくり	場に応じた礼法、掃除の習慣化を目指し、思いやりのある関わりを通して良好な人間関係の構築に努める アンケート内容をはじめ、相談等があれば初期対応に注力し、組織的に対応する	学校生活アンケート(保護者含む) いじめアンケート	
	体験的活動を通じた非認知的能力の伸長と地域貢献の推進	他者と協働して学校行事等に取り組みさせることで、多くの成功・失敗体験を経験させ、客観的な判断力や実行力を育成する ボランティア活動に積極的に参加させ、地域貢献の意欲と協働力を伸ばす	ボランティア活動の参加数 学校行事の振り返り	
	ICTの有効活用と探究活動の充実	ICTを文具として適切に利用するためのルールを守らせ、個別・グループ学習の形態に応じた適切な授業展開を行う 探究活動の方向性について学年団で共通認識を図り、各グループの進捗状況を共有する	学校生活アンケート 総合的な探究の時間に関する成果物	
	双方向性の対話を行うことができる人間関係の構築と場の設定	授業での記述・発表活動を積極的に設定し、対話を恐れない人間関係とクラスの雰囲気をつくる 探究活動や大きな学校行事の成果を発信し、プレゼンテーションの機会の場を意図的に設ける	授業アンケート 学校行事の振り返り	
	職業観の充実や自分の進路に対する意識の向上	大学訪問をはじめとする進路学習を通じて職業観を育み、自己の適性について考えを深めさせる 日々の授業や課題に誠実に取り組み、基礎学力の定着を図る	授業アンケート キャリアパスポート	
第2学年	基本的な生活習慣の維持・向上 (自発的に行動することができるようになるように、自分の生活態度を見直す)	日々の連絡や目標設定を徹底し、生徒が自らの意志で時間や課題を管理できるような仕組みを整える 担任や教科担当の枠を超え、学年団全体で生徒と関わる機会を設定し、個々の課題に対して適切に支援する	学校生活アンケート	
	非認知能力の醸成 (学校生活全般を学びの場と捉える)	学校行事やHR活動を通して、クラス・学年・学校全体で協働する喜びを与え、所属感や貢献感を醸成する 総合的な探究の時間の活動を中心に、調査・分析・考察の過程を充実させ、根拠に基づいた提案や発信ができる力を育成する	キャリアナビ 非認知能力テスト	
	ICT機器・生成AIの効果的な利用 (効果的・道徳的な使用方法を模索し、学習に生かす)	Chromebookを有効に活用して、自らのタスクを管理・調整させる 授業を通して、生成AIの運用方法を指導し学習活動に利用させるとともに、適宜講習会を設定する	学校生活アンケート	
	進路実現に向けた選択肢の比較・検討 (多様な他者との交流を通して自己を見つめる)	地元企業や行政機関、大学等と連携し対話や実践を繰り返すことで、自分の興味や適性について理解させる 総合的な探究の時間の活動を中心に、まとめや発表の機会を設定し情報を取捨選択する力や、効果的に伝える力を習得させる	キャリアナビ Classi学習記録	
	学習習慣の維持・向上 (目標に向かって、主体的に学習する力を身につける)	学習支援週間や模試の前夜で学習目標や計画を設定させ、見直しをもった学習を推奨する 小テストや考査、模試などの成績向上者を学年で表彰することで、学年全体の学習意欲向上を図る	Classi学習記録 授業アンケート スタディーサポート	
第3学年	基本的な生活習慣の確立	「五省」の完成を目指し、「五省」を根幹に据えた指導を展開することで、生徒のウェルビーイングを高める 挨拶や返事、掃除の徹底や時間の厳守など、当たり前のことを当たり前に行える集団の育成を目指す。また、社会や家庭、学校等のルールをしっかりと守らせる指導を行う	学校生活アンケート いじめアンケート 学校満足度調査	
	心理的安全性の高い、充実感のある学校環境づくり	こまめにコミュニケーションを取り、困っていることがないか積極的に声かけを行うことで、質問・相談しやすい環境を作る 成功体験を増やすとともに失敗への恐怖心を減らしていけるような指導を行う。また、学年、分掌、事務室と保護者との連携強化に努める	学校生活アンケート いじめアンケート 学校満足度調査	
	自ら進んで学びに向かうたくましい生徒の育成	基礎学力の定着を目指す。そのため、ICTの積極的な活用を通し、個別最適な学びの充実を図る 学習記録を取り、自身の取り組み方を可視化させることで、自己分析を行わせ、学習に取り組む姿勢を確立させる	授業アンケート Classi(学習記録)	
	双方向性を高め、意見を具体的に表現する力の強化	協働活動を通して、リーダー層を育成していくとともに、自律的かつ主体的に考えて行動できるフォロワーシップを養わせる 主体的に学校行事(特に文化祭、体育祭)や部活動等に取り組みさせ、グリットやコミュニケーション力、レジリエンスの伸長を図る	学校生活アンケート 学校満足度調査	
	自己実現のための進路意識向上とキャリア形成の充実	国公立大15名、西南学院大30名、福岡大100名を目標とした、教科指導および進路指導を行う キャリアナビを活用し、社会への関心を広げながら自分の興味・関心を見つけて学習、志望系統へのこだわりが気づく学習を行わせる	進路希望調査 キャリアナビ	